

第56回
東海地区国立高等専門学校
体育大会プログラム

空 手 道 競 技

日 時：平成30年7月7日（土） 開会式 10：15
競技開始 10：45

会 場：沼津工業高等専門学校 第2体育館

主管校 沼津工業高等専門学校
担当校 沼津工業高等専門学校

会 長 挨 拶



第56回東海地区国立高等専門学校体育大会
会 長 藤 本 晶
(沼津工業高等専門学校長)

第56回東海地区国立高等専門学校体育大会の主管校として、御挨拶申し上げます。

本大会は、昭和38年に豊田高専を会場に第1回大会が開催されて以来、本年で56回目を迎えます。高専で学ぶ学生にとって、スポーツは普段の学習では得られない人間形成や仲間づくりの面で大きな役割を果たすとともに、そこで培われる精神力や強靱な身体は、その後の人生の基盤となります。

また、競技で育まれるフェアプレイの姿勢や練習の成果を出し切る精神力、対戦相手への敬意と同じスポーツに全力を傾けた仲間との連帯、そしてチームの団結やコミュニケーション、メンバーとしての責任感など、社会生活を送る上で求められる能力も身につけることができます。

鈴鹿、岐阜、鳥羽、豊田、そして沼津の東海地方の5つの高専の若者が集い、競い合い、そして仲間として繋がって行く、本大会の持つこのような意義は、半世紀が経った今も、そしてこれからも変わらずに受け継がれてゆくものと確信します。

各チームの諸君には、日々の鍛錬の成果、各自の能力を遺憾なく発揮し、スポーツマンシップに則り、若者らしい正々堂々とした闘いを繰り広げてくれることを期待します。また、競技を通じて他校の選手やスタッフと大いに交流し、意義深い大会にしてください。

本年も6月23日、沼津で行われる陸上競技などを皮切りに、10月27日の豊田でのラグビーフットボールまで、16種目の競技が開催されます。競技の実施にあたっては、審判の派遣等、関係各協会、諸団体並びに関係各位に多大な御尽力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

また各競技を担当される各校、関係教職員の献身的な努力に敬意を表します。東海地区大会から多くの選手が北九州高専を主管校として8月に開催される全国高専体育大会に駒を進め、惜しくも全国大会に進めなかった仲間の分まで頑張っていて、良い成績を上げてくれることを期待します。

大会役員

会長	沼津工業高等専門学校長	藤本晶
副会長	鈴鹿工業高等専門学校長	吉田潤一
	岐阜工業高等専門学校長	伊藤義人
	鳥羽商船高等専門学校長	林祐司
	豊田工業高等専門学校長	田川智彦
	沼津工業高等専門学校学生主事	高野明夫
	沼津工業高等専門学校教務主事	小林隆志
委員	鈴鹿工業高等専門学校学生主事	下古谷博司
	鈴鹿工業高等専門学校体育主任	宝来毅
	鈴鹿工業高等専門学校事務部長	水野元洋
	岐阜工業高等専門学校学生主事	久保田圭司
	岐阜工業高等専門学校体育主任	山本浩貴
	岐阜工業高等専門学校事務部長	木林透
	鳥羽商船高等専門学校学生主事	坂牧孝規
	鳥羽商船高等専門学校体育主任	山田英生
	鳥羽商船高等専門学校事務部長	山内浩一
	豊田工業高等専門学校学生主事	安藤浩哉
	豊田工業高等専門学校体育主任	伊藤道郎
	豊田工業高等専門学校事務部長	千葉直樹
	沼津工業高等専門学校体育主任	渡邊志保美
	沼津工業高等専門学校事務部長	杉浦利勝
	沼津工業高等専門学校総務課長	八木正行
	沼津工業高等専門学校学生課長	小澤強
参与	鈴鹿工業高等専門学校教務主事	江崎尚和
	岐阜工業高等専門学校教務主事	熊崎裕教
	鳥羽商船高等専門学校教務主事	石田邦光
	豊田工業高等専門学校教務主事	塚本武彦

開 会 式 次 第

選手団・役員 整列

- 一. 開式のことば
- 一. 優勝杯返還
- 一. 競技委員長挨拶
- 一. 選手宣誓
- 一. 競技上の諸注意
- 一. 閉式のことば

閉 会 式 次 第

選手団・役員 整列

- 一. 閉式のことば
- 一. 成績発表
- 一. 表彰
- 一. 講評
- 一. 競技委員長挨拶
- 一. 閉式のことば

空手道競技要項

期 日	平成30年7月7日(土)
会 場	沼津工業高等専門学校 第2体育館 住所:〒410-8501 静岡県沼津市大岡3600 電話:055-926-5734(学生課学生係)
開会式	10時15分
競技開始時刻	10時45分
閉会式	競技終了後

I 総 則

1 組手の部

競技規則

- (1) 財団法人全日本空手道連盟が認める組手競技規定(細則を含む。)及び審判規定に準ずる。
- (2) 安全対策として、ボディープロテクター(全空連式又は高空連式)、金的サポーター(全空連式)及び全空連承認のニューメンホウを使用する。(競技規定第2条)
- (3) 向うずねに対する直接攻撃を禁ずる。
- (4) 審判員の判定に対する異議の申し立ては、原則として監督(顧問教員)が行う。

打合せ事項

- (1) 警告は「さわった」感じのもの、又は危険とみなされる技及び動作のもの。
- (2) 反則注意「あたった」感じのもの。
- (3) 反則「あてた」感じのもの。
- (4) 原則としてサポーター類の使用は禁止する。
- (5) 試合時間は、正味2分とする。

2 形の部

競技規則(財団法人全日本空手道連盟が定める形競技規定に準ずる。)

- (1) 形はすべて自由形とする。
- (2) 形の試合場は、組手試合コート内において演武することを原則とする。ただし、コートを出ても減点の対象としない。
- (3) 入退場は、入退場線より出入りすることを原則とする。
- (4) 個人戦形試合は予選を行い、予選の各コートの上位3名を集めて決勝戦を行う。

審判規定(財団法人全日本空手道連盟が決める審判規定に準ずる。)

- (1) 個人戦形試合の予選の審判員は、主審1名、副審4名で行う。
- (2) 団体戦形試合及び個人戦形試合の決勝戦の審判員は、主審1名、副審6名で行う。
- (3) 試合の運行及び審判員の公正を図るために競技監査1名を置く。
- (4) 得点は10点満点とし、9.0は優れている、8.0はやや優れている、7.0は普通、6.0はやや劣る、5.0は劣る、という基準で、更に0.1きざみで判定する。
- (5) 判定基準は、次のとおりとする。
 - (イ) 技の極め(技の正確さ、力強さ、残心、緩急)
 - (ロ) 機敏性(始終の動作、全員の技の遅速)
 - (ハ) 演技力(演技中の動作、全体的な調和)
 - (ニ) 全体の統一性(服装、節度のある態度)
 - (ホ) 入退場
- (6) 形を大きく間違えたとき1.0減点、ぐらついた時は0.4点減点とする。

- (7) 流派などの流儀による動作の細かい違いは減点の対象としない。
- (8) 選手は演武終了後、所定の位置にとどまり点数発表のあと退場する。

打合せ事項

- (1) 大会前に審判講習会を行うものとする。なお、審判講習会も大会の一部とする。

II 競技種目

1 団体戦

組手の部

- (1) チーム人員は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、計10名以内とする。
- (2) 競技は勝者数法で行い、リーグ戦とする。
- (3) リーグ戦の結果、勝率が同一の場合は勝試合の勝者数の多いチームを上位とする。また、勝者数が同数の場合は、全試合を通じて勝者数の多いチームを上位チームとする。
- (4) オーダーは、試合ごとに組替えてもよいが、その提出は当該試合の15分前とする。

形の部

- (1) 各校2チームを上限とし、1チームの人員は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以内、計8名以内とする。ただし、選手が3名に満たない場合は登録できない。
- (2) 競技は3名による得点制とする。

2 個人戦

組手の部

- (1) 出場人員は監督1名、選手5名以内、計6名以内とする。
- (2) 競技の組合せは、トーナメント戦とする。

形の部

- (1) 出場人員は監督1名、選手5名以内、計6名以内とする。
- (2) 競技は得点制とする。

III 表彰

総合の部 団体戦組手の部及び形の部を得点制とし、組手の部は1位10点、2位8点、3位6点、4位4点、5位2点、形の部は1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点、6位以下0点とする。最多得点校を優勝とし、同点の場合は組手の部の高得点校から上位とする。1位に優勝杯及び賞状を授与する。

団体戦 組手の部及び形の部1位に優勝杯及び賞状を授与する。

個人戦 組手の部及び形の部3位までの入賞者に賞状を授与する。

競技役員

競技委員長
会場責任者
審判長
審判員

沼津工業高等専門学校教務主事 小林 隆志
芹澤 弘秀
安倍 嘉之
諏訪部 純, 石川 和磨, 小倉 将也, 太田 胆斗, 富田 一輝
中瀬古 邦男, 鈴木 康太, 田中 猛朗, 山口 航平, 岡野 泰洋
小堀 研, 日々野 浩一, 吉田 宗道
沼津工業高等専門学校学生

補助員

選手名

団体の部(組手の部)

鈴鹿工業高等専門学校

監督 伊藤 清
コーチ
マネージャー

鳥羽工業高等専門学校

監督 攪上 平之介
コーチ 梶原 勉
マネージャー 人見 竜樹

番号	主将	氏名	学年	段位
1	主将	小島 汰一	5	弐
2		櫻井 一圭	4	弐
3		吉田 陽輝	4	初
4		小川 貴大	3	初
5		久森 敬太	2	
6		森満 優太	1	初
7		井上 皓太	1	弐

番号	主将	氏名	学年	段位
1	主将	兼子 律樹	5	初
2		中島 笙一朗	5	初
3		清水 維	4	
4		岡田 恭侍	3	初
5		小林 駿太	2	初
6		杉木 達哉	2	初
7		片岡 憲伸	2	初

沼津工業高等専門学校

監督 芹澤 弘秀
コーチ 星川 朋之
マネージャー 小林 剛

番号	主将	氏名	学年	段位
1		大角 空ノ輔	4	初
2		谷口 洲五	3	弐
3		崎山 亜雄太	3	初
4		大角 流丸	3	初
5		後藤 春風	3	
6				
7				

団体の部(形の部)

鈴鹿工業高等専門学校 A

監督 伊藤 清

コーチ

マネージャー

番号	主将	氏名	学年	段位
1		小川 貴大	3	初
2		小泉 明日海	3	初
3		轟 大吾	1	初
4				
5				

鈴鹿工業高等専門学校 B

監督 伊藤 清

コーチ

マネージャー

番号	主将	氏名	学年	段位
1		森満 優太	1	初
2		平子 由依	1	初
3		酒井 皓晟	1	弐
4				
5				

鳥羽商船高等専門学校

監督 伊藤 立治

コーチ 梶原 勉

マネージャー 加藤 輝将

番号	主将	氏名	学年	段位
1	主将	兼子 律樹	5	初
2		杉木 達哉	2	初
3		小林 駿太	2	初
4		片岡 憲伸	2	初
5		中島 笙一朗	5	初

豊田工業高等専門学校

監督 勝谷 浩明

コーチ 生田 正人

マネージャー

番号	主将	氏名	学年	段位
1		山内 巧登	2	
2		天野 広貴	2	
3		田口 穂乃佳	3	弐
4	主将	磯村 昇吾	5	初
5				

沼津工業高等専門学校 A

監督 大久保 進也

コーチ 星川 朋之

マネージャー 川原 一馬

番号	主将	氏名	学年	段位
1		大角 空ノ輔	4	初
2		大角 流丸	3	初
3		大角 寿鶴	1	弐
4		中倉 基力	5	弐
5		中倉 聲多	2	弐

沼津工業高等専門学校 B

監督 大久保 進也

コーチ 星川 朋之

マネージャー 菊池 愛結

番号	主将	氏名	学年	段位
1		樋口 優心	4	初
2		崎山 亜雄太	3	初
3		谷口 州五	3	弐
4	主将	塩崎 智也	5	初
5				

個人の部(組手の部)

鈴鹿工業高等専門学校
監督 伊藤 清

番号	氏名	学年	段位
1	中森 天斗	4	初
2	小川 貴大	3	初
3	久森 敬太	2	
4	森満 優太	1	初
5	轟 大吾	1	初

鳥羽商船高等専門学校
監督 攪上 平之介

番号	氏名	学年	段位
1	兼子 律樹	5	初
2	清水 維	4	
3	小林 駿太	2	初
4	岡田 恭侍	3	初
5	杣木 達哉	2	初

豊田工業高等専門学校
監督 勝谷 浩明

番号	氏名	学年	段位
1	山内 巧登	2	
2	天野 広貴	2	
3	磯村 昇吾	5	初
4			
5			

沼津工業高等専門学校
監督 芹澤 弘秀

番号	氏名	学年	段位
1	小比田 陸	5	初
2	崎山 亜雄太	3	初
3	谷口 洲五	3	弐
4	後藤 春風	3	
5	梅村 悠生	3	

個人の部(形の部)

鈴鹿工業高等専門学校
監督 伊藤 清

番号	氏名	学年	段位
1	小川 貴大	3	初
2	佐々木 愛実	3	初
3	森満 優太	1	初
4	酒井 皓晟	1	弐
5	平子 由依	1	初

鳥羽商船高等専門学校
監督 伊藤 立治

番号	氏名	学年	段位
1	兼子 律樹	5	初
2	小林 駿太	2	初
3	杣木 達哉	2	初
4	片岡 憲伸	2	初
5			

豊田工業高等専門学校
監督 勝谷 浩明

番号	氏名	学年	段位
1	山内 巧登	2	
2	天野 広貴	2	
3	田口 穂乃佳	3	弐
4	磯村 昇吾	5	初
5			

沼津工業高等専門学校
監督 大久保 進也

番号	氏名	学年	段位
1	塩崎 智也	5	初
2	中倉 基力	5	弐
3	樋口 優心	4	初
4	谷口 洲五	3	弐
5	大角 寿鶴	1	弐

空 手 道 組 合 せ

競技開始時刻 7月7日10時45分

団体戦

組手の部

学校名	豊田	鈴鹿	鳥羽	沼津	勝敗	順位
豊田						
鈴鹿						
鳥羽						
沼津						

	Aコート		Bコート
第1試合	豊田	—	鈴鹿
第2試合	鳥羽	—	豊田
第3試合	鈴鹿	—	鳥羽

団体戦

形の部

演武順	学校名	型名	得点	順位
1	豊田 A			
2	鈴鹿 A			
3	鳥羽 A			
4	沼津 A			
5	豊田 B			
6	鈴鹿 B			
7	鳥羽 B			
8	沼津 B			

個人戦 形の部

予選Aコート

演武順	選手名	学校名	形名	得点	順位
1	山内 巧登	豊田			
2	小川 貴大	鈴鹿			
3	兼子 律樹	鳥羽			
4	谷口 洲五	沼津			
5	佐々木 愛実	鈴鹿			
6	小林 駿太	鳥羽			
7	樋口 優心	沼津			
8	田口 穂乃佳	豊田			
9	森満 優太	鈴鹿			

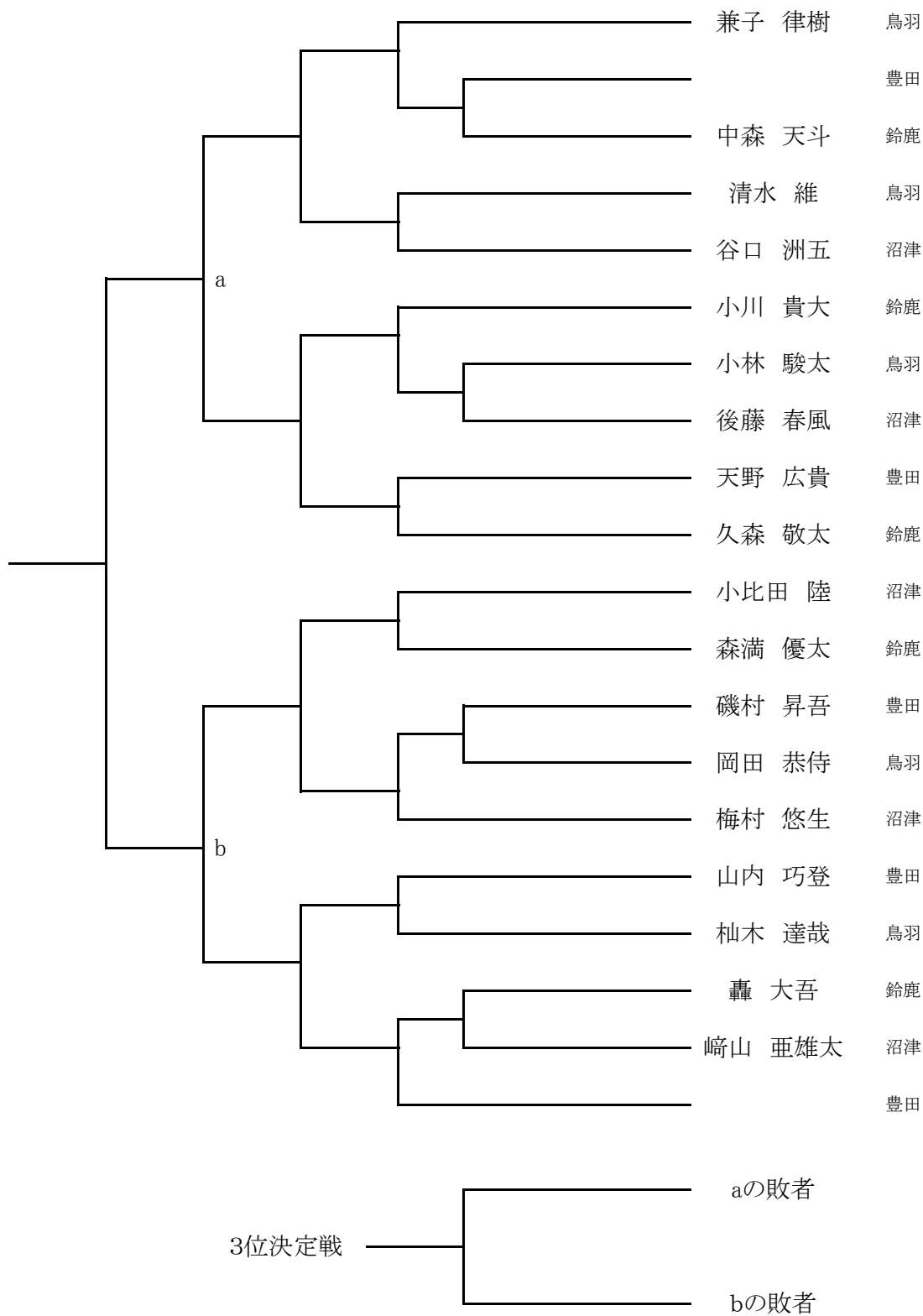
予選Bコート

演武順	選手名	学校名	形名	得点	順位
1	杣木 達哉	鳥羽			
2	中倉 基力	沼津			
3	磯村 昇吾	豊田			
4	酒井 皓晟	鈴鹿			
5	片岡 憲伸	鳥羽			
6	塩崎 智也	沼津			
7	天野 広貴	豊田			
8	平子 由依	鈴鹿			
9	大角 寿鶴	沼津			

決定戦

演武順	選手名	学校名	形名	得点	順位
1		高専			
2		高専			
3		高専			
4		高専			
5		高専			
6		高専			

個人戦 組手の部



個人情報及び肖像権に関する取扱いについて

第56回東海地区国立高等専門学校体育大会

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して大会事務局に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。

救 急 病 院

7月6日（金）

診療区分	病 院 名	住 所	電話番号	受付時間
外科・内科	山本整形外科・循環器科	駿東郡長泉町南一色425-1	055-989-8111	9時～21時
内科	かとう内科医院	沼津市大岡1998	055-946-5562	9時～21時

7月7日（土）

診療区分	病 院 名	住 所	電話番号	受付時間
外科・内科	池田病院	駿東郡長泉町本宿411-5	055-986-1212	8時30分～18時

【問合せ】 救急協力医テレホンサービス：055-958-0119

※協力医は変更になる場合がありますので、事前に電話で確認してください。

第56回東海地区国立高等専門学校体育大会 空手道競技会場

【高専アクセス】

沼津工業高等専門学校

〒410-8501
 静岡県沼津市大岡3600番地
 TEL : 055-921-2700 FAX : 055-926-5700
<http://www.numazu-ct.ac.jp/>

・・・交通案内図



交通案内

- JR三島駅北口よりタクシーにて約10分
- JR三島駅南口より富士急シティバス、沼津高専行乗車
- JR沼津駅南口より富士急シティバス、沼津高専行乗車
- JR下土狩駅下車⇒徒歩約20分
- 東名高速道路沼津インターチェンジより車で約5分
- 新東名高速道路長泉沼津インターチェンジより車で約5分

会場・駐車場 案内図

